

物流Weekly

物流に特化した運転者派遣

ウィンジョブ 毎月3000のエントリー

深刻なドライバー不足にあえぐトラック運送業界で、働き盛りのトラックドライバーの派遣業を展開するウィンジョブ(鷹野雄太社長、東京都品川区)。鷹野社長は「エントリーされているトラックドライバーの平均年齢は30歳代」と話す。同社は、一般貨物運送と人材派遣業を営むウィンコーポレーション(同千代田区)のグループ会社として設立。「顧客から車はあるのに人がいない。ドライバーが欲しい」という声が増え、親会社の派遣部門を独立させたのが当社。そのため物流に特化したドライバーをそろえているのが特徴」と話す。また、「新規で毎月3000のエントリーがある。取扱品や荷主業種に合ったドライバーが派遣できる」

物流業界で若手の獲得に苦労している昨今、多くの若手ドライバーを集められる理由について、「派遣の場合、労務時間管理は厳しくしている。時給制ではないが、ズルズルと勤務時間が延びれば、それだけ残業時間分を請求する。依頼主の物流会社もドライバーに残業させないように荷主に働きかけたり、ローテーションで工夫したりと頑張ってくれる」と述べる。

管理本部の植村謙一郎本部長は、最近の働き手は日払いを望む人も多いという。「クレディセゾ

鷹野社長(左)と植村本部長



ンさんの給料前払いサービス『アドバンストペイ』を昨年12月に導入したら、新規の人の半分が利用するほど好評。働いた分の一定額を翌々日には受け取れるし、日々働いた分が

をセットで提供する「運送契約」や人も含めた倉庫運営、輸送関連まで丸ごと「業務委託」として請け負うこともある。鷹野社長は「物流会社を親とする会社ならではの仕事の

受け取り可能な額として増えていくので、働くモチベーションにもなるという」と説明する。

同社では、人の派遣だけでなく車と人

融通性には自信がある。物流関連のお困りごとは何でもご相談する。

談いたただきたい」と語る。

(小澤 裕)